週間漁海況情報－2018年第8号

平成30年2月27日

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

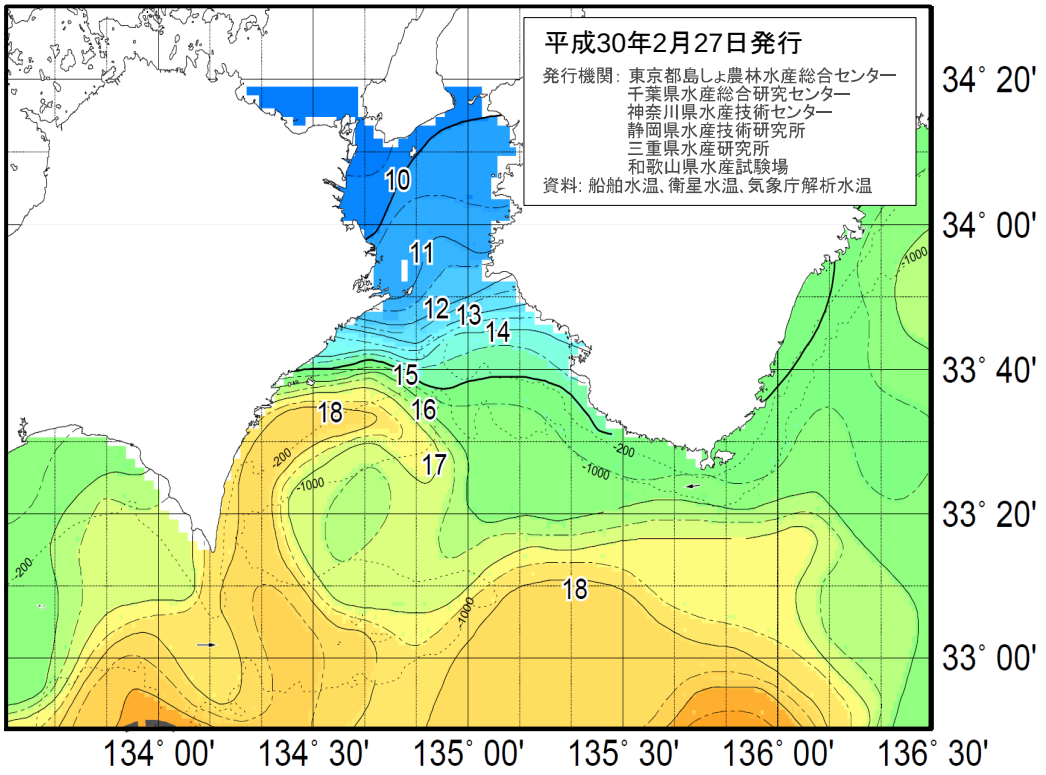
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では長く「離岸」で推移していたが27日には「やや離岸」となっている。潮岬沖では「著しく離岸」で推移していたが26日に「離岸」、27日には「やや離岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘は8℃台、紀伊水道は8℃～11℃台であるが、海部沿岸では黒潮からの暖水波及があり、11℃～18℃台と下灘を中心に暖かくなっている。

黒潮の表面温度は19℃～20℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）

室戸岬沖	接岸：～25NM	やや離岸：25～45NM	離岸45～65NM	著しく離岸：65NM～
潮岬沖	接岸：～26NM	やや離岸：25～56NM	離岸56～86NM	著しく離岸：86NM～

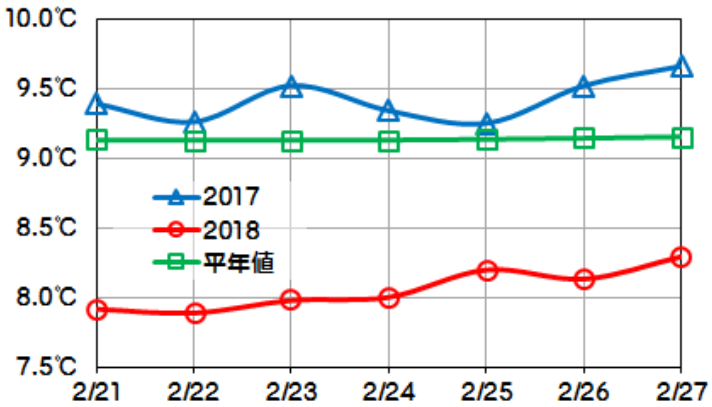
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温（2月21日～2月27日）

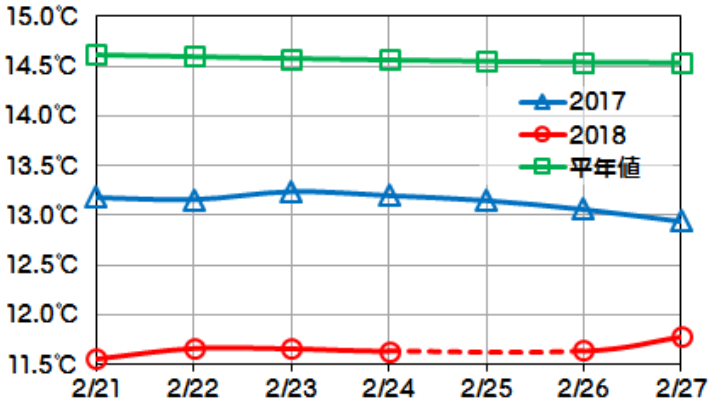
鳴門地区の地先水温は期間を通じて「やや低め」で、ほぼ横ばいながらわずかに上昇し、27日には8.3℃となっている。

日和佐地区の地先水温は期間を通じて「かなり低め」で、ほぼ横ばいであったが27日にやや上昇し11.8℃となっている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低　平年並：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上

※平　年　値　1982年～2016 年の平滑平均値

3. 週間予報（2月28日～3月6日）

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」～「やや離岸」、潮岬沖では引き続き「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の8℃台、日和佐地区は「かなり低め」～「低め」の11℃～12℃台で推移する見込み。

漁況　2018年2月19日～2月25日（旧暦1月4日～1月10日）

1．紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、標本漁協で今年初めての水揚げがあり、イカナゴが24.4ﾄﾝ水揚げされた。
釣りでは、タチウオが大きく増えて0.6ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.7ﾄﾝ、シマフグが減って0.5ﾄﾝ水揚げされた。
建網では、メジナが増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、キチヌ（きびれ）が前週並みの2.7ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、コウイカが前週並みの1.0ﾄﾝ水揚げされた。

2．海部沿岸（標本漁協数：4）

釣りでは、ブリが増えて0.6ﾄﾝ水揚げされた。
建網では、メジナが前週並みの1.0ﾄﾝ、ヒラメも前週並みの0.8ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、カタクチイワシが減って0.9ﾄﾝ水揚げされた。
大型定置網では、ブリがめじろ級主体に大きく増えて1.0ﾄﾝ、いわし類がカタクチイワシ主体に0.8ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ﾄﾝ以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	122	イカナゴ	24,375	200		
	釣り	14	タチウオ	637	45		↗↗
	延縄	15	ブリ	740	49	めじろ主体	↗↗
		26	シマフグ	506	19		↘
	建網	12	メジナ	220	18		↗
	小型定置網	27	キチヌ	2,681	99		→
		7	ボラ	283	40	大主体	↘↘
		23	ウマヅラハギ	250	11	大主体	↗↗
	底びき網	52	コウイカ	1,010	19		→
		42	いとより類	312	7		↗
		40	えそ類	310	8		↘
		43	ケンサキイカ	293	7		→
		34	モンゴウイカ	232	7		↗
海部沿岸	釣り	34	ブリ	576	17		↗
		15	タチウオ	274	18		→
		19	マサバ	232	12		↗↗
	建網	53	メジナ	999	19		→
		80	ヒラメ	800	10		→
		41	カサゴ	208	5	中主体	↘
	小型定置網	16	カタクチイワシ	924	58		↘
	大型定置網	9	ブリ	1,029	114	めじろ主体	↗↗
			いわし類	773	86	カタクチイワシ主体	↗↗
			イシダイ	260	29	大主体	↗

※　前週比　　200%以上:↗↗　120-200%:↗　80-120%:→　50-80%:↘　　50%未満:↘↘